

ポンポン山の早春 2020.3.22

カタクリの開園作業終了後、(見つけた蕾は20株くらい) ポンポン山～西尾根～カマガダニ～東尾根を周回しました。先週15日・日曜日は足の踏み場が無いくらい山頂は人でごった返し、特に新型コロナで行き場のなくなった少年たちが沢山いましたが、この日はほどほどの人でした。

例年、まばらに花をつけているマンサクの木には一輪の花も無し。あきらめきれずに探していると上の方に太陽に照らされた黄色の塊が見えました。マンサクです。幸先の良い歩き出しとなりました。福寿草自生地からカマガダニに入り、久々にキンキエンゴサク、ユリワサビに出会えました。また、どこにでもあるミヤマカタバミですが、谷一面に咲いていて清楚な白に心奪われました。4月中下旬にはニリンソウ、イチリンソウやヤマブキソウが咲き、春爛漫の谷となり、楽しみです。目立たないですが藪椿、馬酔木、椋の花たちも虫を呼び寄せ春を謳歌していました。



マンサク



カテンソウ



キンキエンゴサク



キンキエンゴサク と ヤマネコノメソウ



ミヤマカタバミ



ミヤマカタバミ



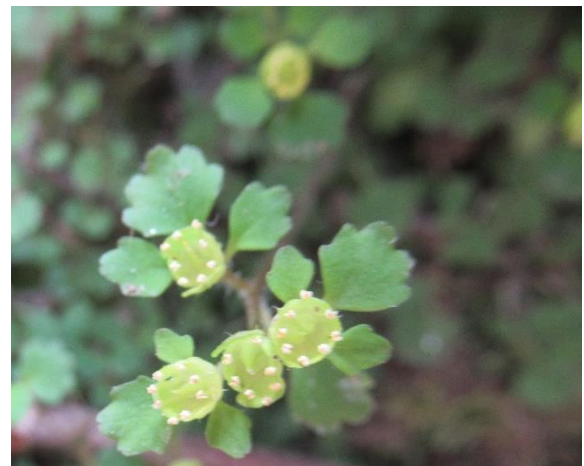
ヤマルリソウ



ユリワサビ



セントウソウ



タチネコノメソウ? (葉は互生だった)



ウリハダカエデの老木

(記・Sasaki)